

Office 10 パッケージ版 インストール

バージョン 10.1

インストール

サイボウズ Officeを新規にインストールする手順を説明します。

Windowsの場合

Windows環境で行う、サイボウズ Officeのインストールの手順を説明します。

インストールの前に確認すること

サイボウズ Officeをインストールする前に、次の項目を確認します。

項目	説明
ユーザーの権限	インストールする際に、次のユーザーでサーバーマシンにログインする必要があります。 ● Administrator権限を持つユーザー
サーバーマシンやネットワークの環境	お使いのサーバーマシンやネットワーク環境が動作環境と合っていることを確認します。 製品サイト ： 動作環境
対応Webサーバ	Webサーバーがインストールされていることを確認します。 Webサーバーがインストールされていない場合は、サイボウズ Officeのインストールと同時にApacheをインストールできます。 対応Webサーバーは、次のページを参照してください。 対応するWebサーバー Webサーバーのインストール方法は、次のページを参照してください。 Webサーバーのインストール方法
サーバーマシンの設定日時	サーバーマシンの設定日時が、正しいかどうかを確認します。 日時が正しく設定されていないと、正常に動作しない恐れがあります。
ドライブの空き容量	インストール先のドライブに、100MBの空き容量があることを確認します。
常駐アプリケーションやプロセス	サーバーマシンで、アプリケーションのプロセスやWindowsプログラムが終了していることを確認します。 常駐アプリケーションやプロセス等が起動している場合は、すべて終了してください。

サンプルデータについて

サイボウズ Officeをインストールすると、サンプルユーザーとスケジュール、掲示板などのデータがサンプルデータとして登録されます。
サンプルユーザーを使用して、データを参照したり機能を試したりできます。
ただし、初期設定ではメールサーバーが設定されていないため、メールを送受信できません。
不要なサンプルデータは削除できます。
詳細は、次のページを参照してください。

[製品サイト](#) [サンプルデータの削除](#)

インストーラーを入手する

最新のインストーラーを次のページからダウンロードし、インストール先のサーバーマシンに保存します。

[製品サイト](#)： [ダウンロード](#)

インストールする

次の場合を例にサイボウズ Officeをインストールする手順を説明します。

- Windows環境：Windows Server 2012 Standard

- インストール識別子 : cbag

1. インストールする環境を確認します。

[インストールの前に確認すること](#)

2. 最新のインストーラーを入手します。

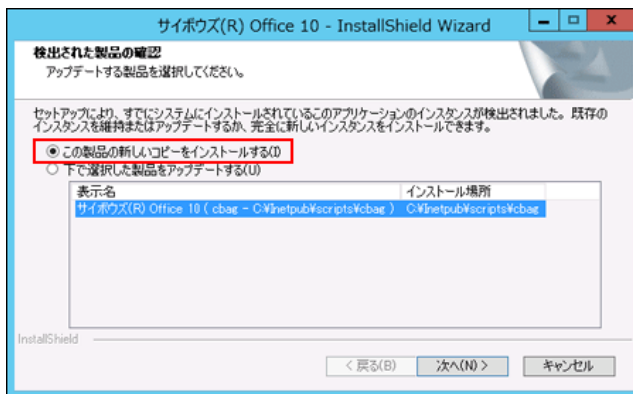
[製品サイト](#) : [ダウンロード](#)

3. サーバーマシンにダウンロードしたインストーラー「cbof-10.0.0-windows-k0.exe」をダブルクリックし、インストーラーを起動します。

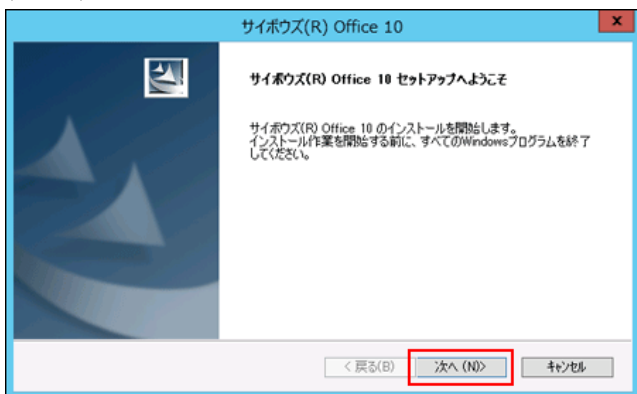
次のサーバーマシンをお使いの場合は、「cbof-10.0.0-windows-k0.exe」を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

- Windows Server 2008
 - Windows Server 2012
 - Windows Vista
 - Windows 7
 - Windows 8
- 同じサーバーマシンにサイボウズ Office がすでにインストールされている場合
新しくインストールするかどうかを確認する画面が表示されます。

新規にインストールする場合は、「この製品の新しいコピーをインストールする」を選択し、次へ をクリックします。

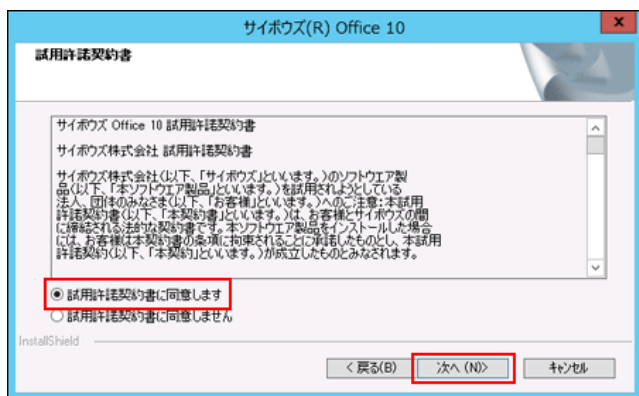


4. 次へ をクリックします。

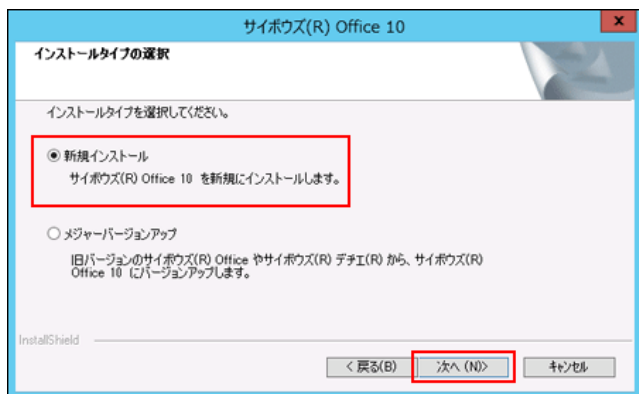


5. 試用許諾契約書を確認し、同意する場合は「試用許諾契約書に同意します」を選択し、次へ をクリックします。

- 試用許諾契約書に同意しない場合 :
キャンセル をクリックし、インストールを中止します。
- 1つ前の手順に戻る場合 :
戻る をクリックします。



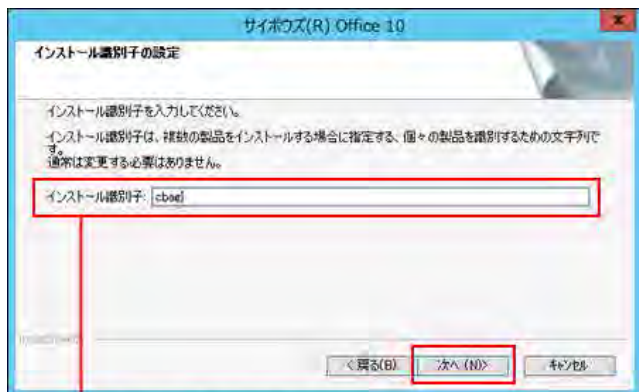
6. 「新規インストール」を選択し、次へをクリックします。



7. インストール識別子を確認し、次へをクリックします。

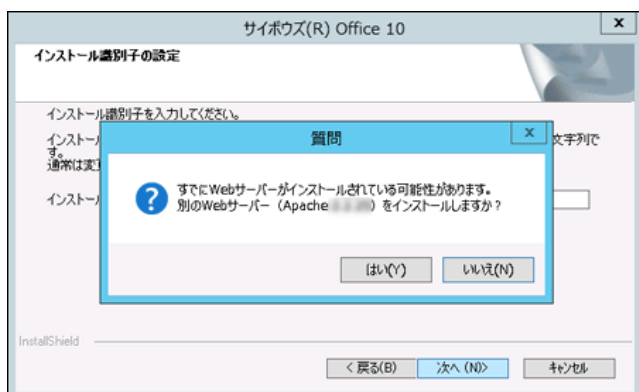
通常はインストール識別子を変更する必要はありません。ただし、1つのサーバーマシンに複数のサイボウズ Officeをインストールする場合は、サイボウズ Officeごとに異なるインストール識別子を設定する必要があります。

インストール識別子とは



変更する場合は、任意の文字列を入力します。

サーバーマシンにWebサーバーが設定されていない場合、次の画面が表示されます。



- WebサーバーにApacheを利用する場合：

をクリックし、画面にしたがってApacheをインストールします。

- Apache以外のWebサーバーを利用する場合：

をクリックし、インストールをキャンセルします。先に Webサーバーを準備してから、サイボウズ Officeをインストールしてください。

Webサーバーのインストール方法は、次のページを参照してください。

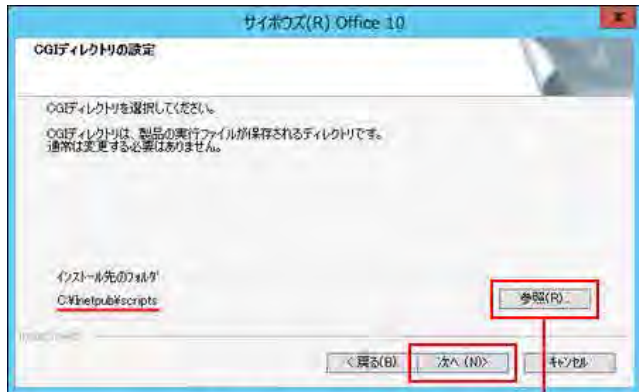
[Webサーバーをインストールする](#)

8. CGIディレクトリを確認し、 をクリックします。

通常は CGIディレクトリを変更する必要はありません。変更する場合は、 をクリックし、CGIディレクトリを指定します。

初期値に設定されているCGIディレクトリは、お使いのWebサーバーにより異なります。

[CGIディレクトリとは](#)



CGIディレクトリを変更する場合にクリックします。

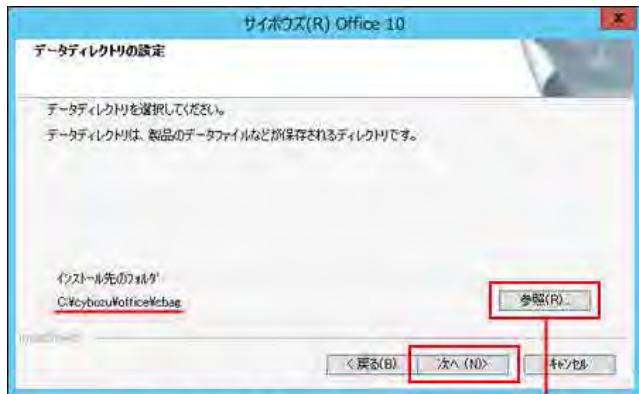
9. データディレクトリを確認し、 をクリックします。

通常はデータディレクトリを変更する必要はありません。変更する場合は をクリックし、データディレクトリを指定します。

データディレクトリの初期値は、次のとおりです。

- C:\cybozu\office¥(インストール識別子)

[データディレクトリとは](#)



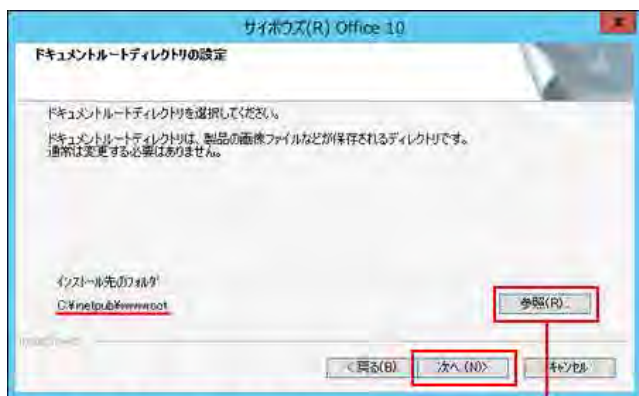
データディレクトリを変更する場合にクリックします。

10. ドキュメントルートディレクトリを確認し、 をクリックします。

通常はドキュメントルートディレクトリを変更する必要はありません。変更する場合は をクリックし、ドキュメントルートディレクトリを指定します。

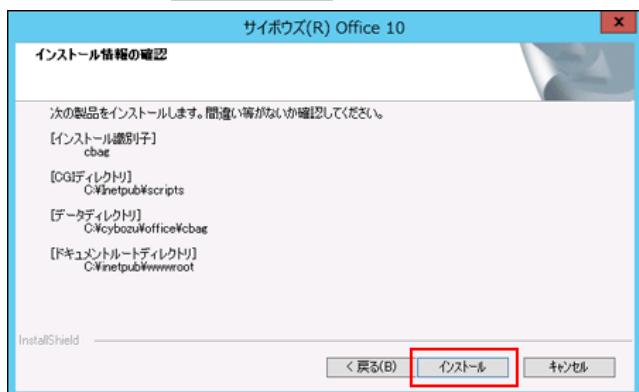
初期値に設定されているドキュメントルートディレクトリは、お使いのWebサーバーにより異なります。

[ドキュメントルートディレクトリとは](#)

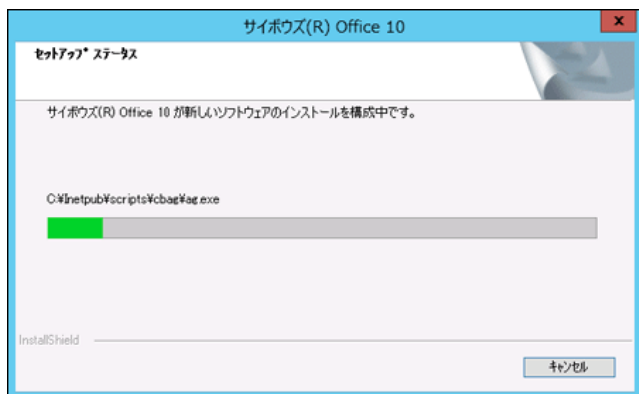


ドキュメントルートディレクトリを変更する場合にクリックします。

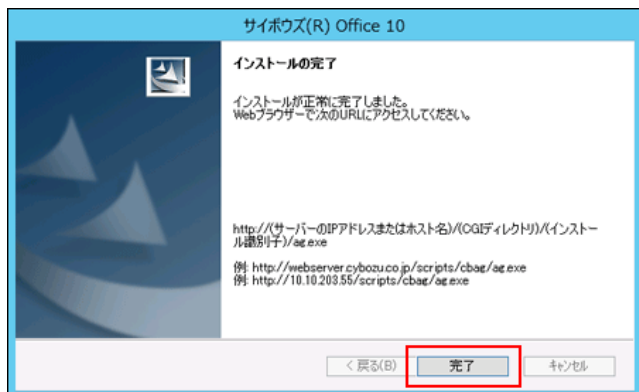
11. 設定を確認し、インストールをクリックします。



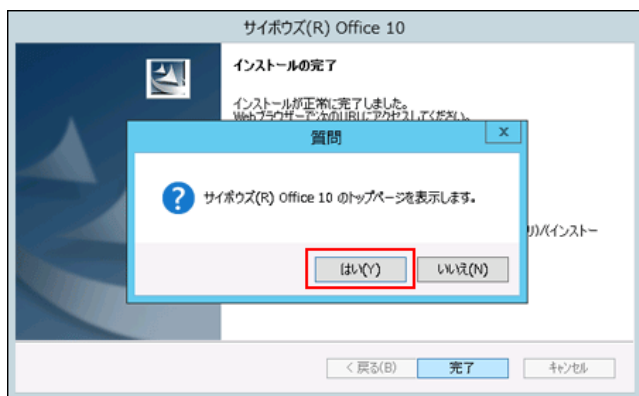
インストールが始まります。



12. 完了をクリックします。



13. はいをクリックします。



サイボウズ Officeのログイン画面とREADME.txtが表示されれば、インストールは正常に終了しています。

14. 「会社名」と「お名前」を入力し、**次へ** をクリックし、サンプルデータを作成します。



15. サイボウズ Officeにサンプルユーザーでログインし、動作を確認します。



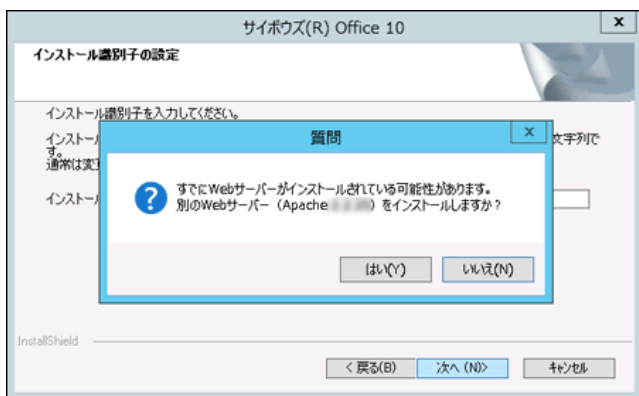
こんなときは

サイボウズ Officeのインストール操作で、困ったことを解決するヒントをまとめて紹介します。

Webサーバーをインストールする

次の場合に、インストール識別子の設定の後で、Webサーバーをあわせてインストールするかどうかを確認する画面が表示されます。

- サーバマシンにWebサーバーがインストールされていない。
- すでにインストールされているWebサーバーを停止している。
- Webサーバーのポート番号が80番から変更されている。



Apacheをインストールする場合は、**はい** をクリックし、Webサーバーをインストールしてください。

Apacheをインストールする手順の詳細は、次のページを参照してください。

[技術情報：Apache\(Windows用\)のインストール](#)

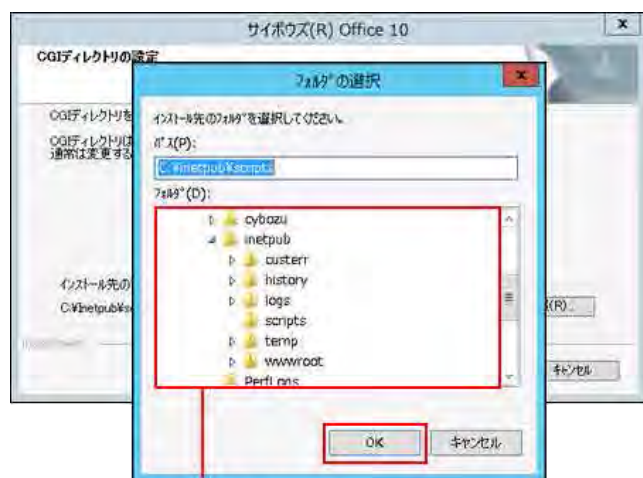
対応するWeb サーバー

Windows環境で、サイボウズ Officeが対応しているWebサーバーは次のとおりです。

対応Webサーバー	バージョン	Webサーバーのインストール方法
インターネットインフォメーションサービス(IIS)	6.0	技術情報：IIS 6.0のインストール
	7.0	技術情報：IIS 7.0のインストール
	7.5	技術情報：IIS 7.5のインストール
	8.0	技術情報：IIS 8.0のインストール
	8.5	技術情報：IIS 8.5のインストール
Apache	2.0. x	技術情報：Apache(Windows用)のインストール
	2.2. x	

CGIディレクトリやドキュメントルートディレクトリを変更する

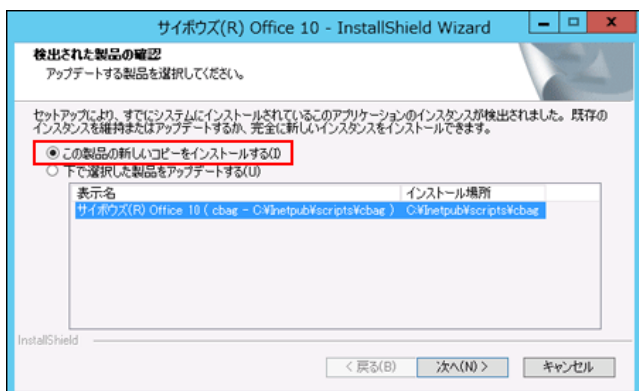
CGIディレクトリ、データディレクトリ、またはドキュメントルートディレクトリを変更する場合は、各確認画面で **参照** をクリックして、変更先を指定します。



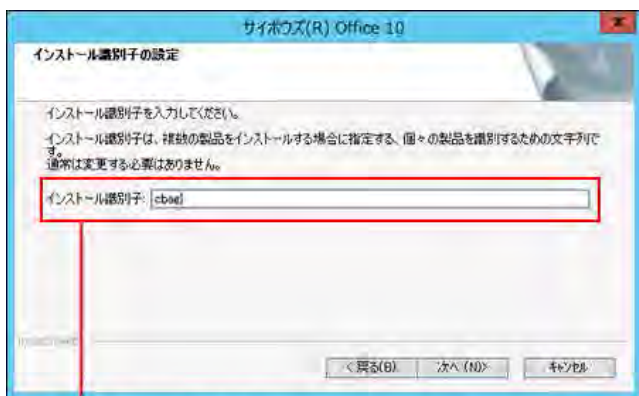
変更先を指定します。

1つのサーバーに複数の製品をインストールする

1つのサーバーに複数のサイボウズ Officeをインストールする場合は、インストールの手順4で次の画面が表示されます。「この製品の新しいコピーをインストールする」を選択してインストール操作を進めます。



複数の製品をインストールする場合は、インストールの手順7ですでにインストールしているサイボウズ Office パッケージ版で使用しているインストール識別子とは異なる識別子を設定します。



サイボウズ Officeごとに異なるインストール識別子を設定します。

アクセス画面が表示されない

初回アクセス画面が表示されない場合は、Webブラウザを起動し、サイボウズ Officeにアクセスします。

アクセスURLは、お使いのWebブラウザのお気に入りやブックマークに追加しておくことを推奨します。ユーザーにも、アクセスURLをお気に入りやブックマークに追加することを連絡してください。

アクセスするURLは次のとおりです。

Webサーバー	アクセスURL	例
IIS	http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/scripts/(インストール識別子)/ag.exe?	● サーバーのIPアドレスが「192.168.1.1」、インストール識別子が「cbag」の場合 http://192.168.1.1/scripts/cbag/ag.exe? ● ホスト名が「test.co.jp」、インストール識別子が「cbag」の場合 http://test.co.jp/scripts/cbag/ag.exe?
Apache	http://(サーバーのホスト名またはIPアドレス)/cgi-bin/(インストール識別子)/ag.exe?	● サーバーのIPアドレスが「192.168.1.1」、インストール識別子が「cbag」の場合 http://192.168.1.1/cgi-bin/cbag/ag.exe? ● ホスト名が「test.co.jp」、インストール識別子が「cbag」の場合 http://test.co.jp/cgi-bin/cbag/ag.exe?

上記の操作をしてもログイン画面が表示されない場合は、次の項目を確認してください。

- サーバマシンのIPアドレス、サーバー名、ディレクトリ名、またはファイル名などが正しく入力されていること
アクセスURLに間違いがないかどうかを確認してください。
- CGIを実行できるディレクトリを指定していること
- 仮想ディレクトリが正しく設定されていること
 - 📄 [Windowsの仮想ディレクトリについて](#)
 - 📄 [仮想ディレクトリの作成方法](#)

用語について

サイボウズ Officeのインストール操作で使う用語を紹介します。

インストール識別子とは

サイボウズ Officeを識別するための文字列で、アクセスURLの一部に使用されます。

使用できる文字は「A-Z」「a-z」「0-9」「-」「_」「\$」「!」「.」「+」です。

先頭または末尾に「.」は使用できません。設定できる文字列は最大20文字です。

1つのサーバマシンにすでにサイボウズ Officeをインストールしている場合は、異なる識別子を指定する必要があります。

CGIディレクトリとは

CGIディレクトリとは、CGIプログラムの実行が許可された、お使いのWebサーバー上のディレクトリです。

サイボウズ Officeのインストーラーは、CGIディレクトリ配下に、「cbag(インストール識別子)」というディレクトリを作成します。

この「cbag(インストール識別子)」配下に、サイボウズ Officeの実行ファイルが保存されます。

サイボウズ Officeでは、「CGIディレクトリ+インストール識別子」のことを、インストールディレクトリと呼んでいます。

インストールディレクトリのファイル構成は、次のページを参照してください。

📄 ファイル構成：[インストールディレクトリ](#)

ドキュメントルートディレクトリとは

ドキュメントルートディレクトリとは、外部に公開するコンテンツを格納する、お使いのWebサーバー上のディレクトリです。

ドキュメントルートディレクトリを変更すると、サイボウズ Officeの画面に、正しく画像が表示されない場合があります。

サイボウズ Officeのインストーラーは、ドキュメントルートディレクトリ配下にバージョン固有のディレクトリを作成します。たとえばバージョン10.1.xの場合、「cb1010」です。

このバージョン固有のディレクトリに、画面表示に必要な画像ファイルなどの静的ファイルが保存されます。

バージョン固有のディレクトリのファイル構成は、次のページを参照してください。

📄 ファイル構成：[ドキュメントルートディレクトリ](#)

データディレクトリとは

データディレクトリは、サイボウズ Officeが動作するために必要なデータを保存するディレクトリです。サイボウズ Officeのインストーラーが作成します。

データディレクトリのファイル構成は、次のページを参照してください。

📄 ファイル構成：[データディレクトリ](#)

Linuxの場合

Linux環境で行う、サイボウズ Officeのインストールの手順を説明します。

インストールにはLinuxコマンドを使用します。操作に不安がある場合は、Linuxサーバーの管理者に協力を依頼してください。

インストールの前に確認すること

サイボウズ Officeをインストールする前に、次の項目を確認します。

項目	説明
ユーザーの権限	インストールする際に、次のユーザーでサーバーマシンにログインする必要があります。 ● root権限を持つユーザー
サーバーマシンやネットワークの環境	お使いのサーバーマシンやネットワーク環境が動作環境と合っていることを確認します。 製品サイト ： 動作環境
対応Webサーバ	Webサーバーがインストールされていることを確認します。 Webサーバーは、お使いの環境に合わせて、お客様自身でインストールする必要があります。 対応Webサーバーは、次のページを参照してください。 対応するWebサーバー
サーバーマシンの設定日時	サーバーマシンの設定日時が、正しいかどうかを確認します。 日時が正しく設定されていないと、正常に動作しない恐れがあります。
ドライブの空き容量	インストール先のドライブに、100MBの空き容量があることを確認します。
常駐アプリケーションやプロセス	サーバーマシンで、アプリケーションのプロセスやWindowsプログラムが終了していることを確認します。 常駐アプリケーションやプロセス等が起動している場合は、すべて終了してください。

サンプルデータについて

サイボウズ Officeをインストールすると、サンプルユーザーとスケジュール、掲示板などのデータがサンプルデータとして登録されます。

サンプルユーザーを使用して、データを参照したり機能を試したりできます。

ただし、初期設定ではメールサーバーが設定されていないため、メールを送受信できません。

不要なサンプルデータは削除できます。

詳細は、次のページを参照してください。

[製品サイト](#) [サンプルデータの削除](#)

インストーラーを入手する

最新のインストーラーを次のページからダウンロードし、インストール先のサーバーマシンに保存します。

[製品サイト](#)： [ダウンロード](#)

インストールする

次の場合を例にサイボウズ Officeをインストールする手順を説明します。

- Linux環境：Red Hat Enterprise Linux 5
- インストール識別子：cbag

1. インストールする環境を確認します。

 [インストールの前に確認すること](#)

2. 最新のインストーラーを入手します

 製品サイト: [ダウンロード](#)

3. スーパーユーザーでログインします。

suコマンドを利用し、root権限でログインします。

"-"は必ず付けてください。

```
su -
```

4. サーバマシンにダウンロードした「cbof-10.0.0-linux-k0.bin」を任意のディレクトリに保存し、そのディレクトリに移動します。

例: /tmpにインストーラーを保存する場合

```
cp cbof-10.0.0-linux-k0.bin /tmp
cd /tmp
```

5. インストーラー「cbof-10.0.0-linux-k0.bin」をshコマンドで起動します。

```
sh cbof-10.0.0-linux-k0.bin
```

6. 日本語が表示されたら、「Y」を入力し、Enterキーを押します。

日本語が表示されない場合は、英語表示モードでインストールします。「N」を入力してからEnterキーを押します。

この日本語が正しく表示されている場合はYを入力してください。

If you cannot read the above Japanese text, type 'N'.

[Y] / [N]:

7. 表示されている試用許諾契約書は、EnterキーまたはSpaceキーを押して最後まで確認してください。

試用許諾契約書に同意しない場合は「N」を入力してからEnterキーを押し、インストールを中止します。

8. インストール識別子を確認し、Enterキーを押します。

通常はインストール識別子を変更する必要はありません。ただし、1つのサーバマシンに複数のサイボウズをインストールする場合は、サイボウズOfficeごとに異なるインストール識別子を設定する必要があります。

 [インストール識別子とは](#)

===== インストール識別子の設定 =====

インストール識別子を設定してください。

インストール識別子は製品がインストールされるディレクトリの名前になります。

なにも入力せずに[Enter]キーを押すと、「cbag」が設定されます。

通常は変更する必要はありません。

Cybozu(R) Office 10へバージョンアップする場合

使用中の製品と同じインストール識別子を設定してください。

インストール識別子は、システム設定の「実行環境の診断」画面のDir欄で確認できます。

例: 旧製品の実行環境が、/var/www/cgi-bin/cbag/ の場合

インストール識別子は、「cbag」になります。

[cbag]:

9. CGIディレクトリを確認し、Enterキーを押します。

通常はCGIディレクトリを変更する必要はありません。

初期値に設定されているCGIディレクトリは、お使いのWebサーバーにより異なります。

CGIディレクトリとは

===== CGIディレクトリの設定=====

CGIディレクトリを設定してください。

※CGIディレクトリは、製品の実行ファイルが保存されるディレクトリです。

なにも入力せずに[Enter]キーを押すと、「/usr/local/apache2/cgi-bin」が設定されます。
通常は変更する必要はありません。

Cybozu(R) Office 10へバージョンアップする場合

使用中の製品と同じCGIディレクトリを設定してください。

CGIディレクトリは、システム設定の「実行環境の診断」画面のDir欄で確認できます。

例：旧製品の実行環境が、/usr/local/apache2/cgi-bin/cbagの場合
CGIディレクトリは、「/usr/local/apache2/cgi-bin」になります。

[/usr/local/apache2/cgi-bin]:

10. データディレクトリを確認し、Enterキーを押します。

通常はデータディレクトリを変更する必要はありません。

データディレクトリの初期値は、次のとおりです。

- /var/local/cybozu/office/(インストール識別子)

データディレクトリとは

===== データディレクトリの設定=====

データディレクトリを設定してください。

※データディレクトリは、製品のデータファイルなどが保存されるディレクトリです。

なにも入力せずに[Enter]キーを押すと、「/var/local/cybozu/office/cbag」が設定されます。

[/var/local/cybozu/office/cbag]:

11. ドキュメントルートディレクトリを確認し、Enterキーを押します。

通常はドキュメントルートディレクトリを変更する必要はありません。

初期値に設定されているドキュメントルートディレクトリは、お使いのWebサーバーにより異なります。

ドキュメントルートディレクトリとは

===== ドキュメントルートディレクトリの設定=====

ドキュメントルートディレクトリを設定してください。

※ドキュメントルートディレクトリは、製品の画像ファイルなどが保存されるディレクトリです。

なにも入力せずに[Enter]キーを押すと、「/usr/local/apache2/htdocs」が設定されます。
通常は変更する必要はありません。

Cybozu(R) Office 10へバージョンアップする場合

使用中の製品と同じドキュメントルートディレクトリを設定してください。

ドキュメントルートディレクトリは、システム設定の「実行環境の診断」画面のDocumentRoot欄で確認できます。

例：旧製品の実行環境が、/var/www/htmlの場合
ドキュメントルートディレクトリは、「/var/www/html」になります。

[/usr/local/apache2/htdocs]:

12. Webサーバーの実行ユーザー名を確認し、Enterキーを押します。

通常は、Webサーバーの実行ユーザー名には「apache」を設定するため、何も入力せずEnterキーを押します。

Webサーバーの実行ユーザー名を変更する場合は、実行ユーザー名を入力しEnterキーを押します。

Webサーバーの実行ユーザーとは

===== Webサーバーの実行ユーザー名の設定=====

Webサーバーの実行ユーザー名を設定してください。

なにも入力せずに[Enter]キーを押すと、「apache」が設定されます。

通常は変更する必要はありません。

[apache]:

13. 設定を確認し、問題がなければ「Y」を入力してEnterキーを押します。

設定を変更する場合は「N」を入力してEnterキーを押します。

===== インストールの設定の確認 =====

インストールの設定を確認してください。

インストール識別子:	cbag
CGIディレクトリ:	/usr/local/apache2/cgi-bin
データディレクトリ:	/var/local/cybozu/office/cbag
ドキュメントルートディレクトリ:	/usr/local/apache2/htdocs
WEBサーバーの実行ユーザー:	apache
スケジューリングサービスの起動/停止ファイル:	/etc/rc.d/init.d/ofss_cbag
アンインストールの実行ファイル:	/var/local/cybozu/office/cbag/uninstall_cbag

この設定でインストールします。よろしいですか？

[Y](はい) / [N](いいえ) :

インストールが始まります。

14. インストールが完了したら、試用許諾契約書とREADMEの保存場所を確認します。

===== インストールの終了の確認 =====

インストールが正常に終了しました。

使用する前にREADMEを読んでください。

試用許諾契約書とREADMEの保存先は次のとおりです。

試用許諾契約書:	/var/local/cybozu/office/cbag/LICENSE
README:	/var/local/cybozu/office/cbag/README

Web ブラウザーで次のURLにアクセスしてください。

http://(サーバーのIPアドレス、またはホスト名)/(CGIディレクトリ)/(インストール識別子)/ag.cgi

例) http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbag/ag.cgi

例) http://10.10.203.55/cgi-bin/cbag/ag.cgi

15. Webブラウザーを起動し、サイボウズ Officeにアクセスします。

初回アクセス画面が表示されれば、インストールは正常に終了しています。

アクセスするURLは、次のとおりです。

例 :

- /usr/local/apache2/cgi-bin/cbag にインストールした場合
http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbag/ag.cgi?
- サーバーのIPアドレスが「192.168.1.1」、インストール識別子が「cbag」の場合
http://192.168.1.1/cgi-bin/cbag/ag.cgi
- ホスト名が「test.co.jp」、インストール識別子が「cbag」の場合
http://test.co.jp/cgi-bin/cbag/ag.cgi

アクセスURLは、お使いのWebブラウザーのお気に入りやブックマークに追加しておくことを推奨します。

ユーザーにも、アクセスURLをお気に入りやブックマークに追加することを連絡してください。

初回アクセス画面が表示されない場合は、次のページを参照してください。

 [アクセス画面が表示されない](#)

16. 「会社名」と「お名前」を入力し、 **次へ** をクリックし、サンプルデータを作成します。

 [サンプルデータについて](#)



サイボウズ Office をご利用頂き、誠にありがとうございます。

あなたの会社名、お名前を入力してください。
入力された内容で **サンプルデータ** を作成します。

会社名

お名前

サンプルデータの作成に数秒かかる場合があります。

次へ >>

17. サイボウズ Officeにサンプルユーザーでログインし、動作を確認します。



さんゆう商会

名前

パスワード

ログイン

こんなときは

サイボウズ Officeのインストール操作で、困ったことを解決するヒントをまとめて紹介します。

対応するWebサーバー

Linux環境で、サイボウズ Officeが対応しているWebサーバーはApache 2.0.x / 2.2.xです。

サイボウズ Officeのインストール作業を開始する前に、サーバーマシンにサイボウズ Officeが対応しているWebサーバーをインストールしてください。

1つのサーバーに複数の製品をインストールする

複数の製品をインストールする場合は、インストールの手順8で、すでにインストールしているサイボウズ Officeで使用しているインストール識別子とは異なる識別子を設定します。

アクセス画面が表示されない

初回アクセス画面が表示されない場合は、Webブラウザを起動し、サイボウズ Officeにアクセスします。

アクセスURLは、お使いのWebブラウザのお気に入りやブックマークに追加しておくことを推奨します。
ユーザーにも、アクセスURLをお気に入りやブックマークに追加することを連絡してください。

アクセスするURLは次のとおりです。

Webサーバー	アクセスURL	例
Apache	http://(サーバーのホスト名またはIPアドレス) /cgi-bin/cbag/ag.cgi?	● サーバーのIPアドレスが「192.168.1.1」、インストール識別子が「cbag」の場合 http://192.168.1.1/cgi-bin/cbag/ag.cgi?
		● ホスト名が「test.co.jp」、インストール識別子が「cbag」の場合 http://test.co.jp/cgi-bin/cbag/ag.cgi?

上記の操作をしてもログイン画面が表示されない場合は、次の項目を確認してください。

- サーバマシンのIPアドレス、サーバー名、ディレクトリ名、またはファイル名などが正しく入力されていること
アクセスURLに間違いがないかどうかを確認してください。
- CGIを実行できるディレクトリを指定していること
- 仮想ディレクトリが正しく設定されていること
[Linuxの仮想ディレクトリについて](#)

用語について

サイボウズ Officeのインストール操作で使う用語を紹介します。

インストール識別子とは

サイボウズ Officeを識別するための文字列で、アクセスURLの一部に使用されます。

使用できる文字は「A-Z」「a-z」「0-9」「-」「_」「.」「+」です。

先頭または末尾に「.」は使用できません。設定できる文字列は最大20文字です。

1つのサーバマシンにすでにサイボウズ Officeをインストールしている場合は、異なる識別子を指定する必要があります。

CGIディレクトリとは

CGIディレクトリとは、CGIプログラムの実行が許可された、お使いのWebサーバー上のディレクトリです。

サイボウズ Officeのインストーラーは、CGIディレクトリ配下に、「cbag(インストール識別子)」というディレクトリを作成します。

この「cbag(インストール識別子)」配下に、サイボウズ Officeの実行ファイルが保存されます。

サイボウズ Officeでは、「CGIディレクトリ+インストール識別子」のことを、インストールディレクトリと呼んでいます。

インストールディレクトリのファイル構成は、次のページを参照してください。

□ ファイル構成：[インストールディレクトリ](#)

ドキュメントルートディレクトリとは

ドキュメントルートディレクトリとは、外部に公開するコンテンツを格納する、お使いのWebサーバー上のディレクトリです。

ドキュメントルートディレクトリを変更すると、サイボウズ Officeの画面に、正しく画像が表示されない場合があります。

サイボウズ Officeのインストーラーは、ドキュメントルートディレクトリ配下にバージョン固有のディレクトリを作成します。たとえばバージョン10.1.xの場合、「cb1010」です。

このバージョン固有のディレクトリに、画面表示に必要な画像ファイルなどの静的ファイルが保存されます。

バージョン固有のディレクトリのファイル構成は、次のページを参照してください。

□ ファイル構成：[ドキュメントルートディレクトリ](#)

データディレクトリとは

データディレクトリは、サイボウズ Officeが動作するために必要なデータを保存するディレクトリです。サイボウズ Officeのインストーラーが作成します。

データディレクトリのファイル構成は、次のページを参照してください。

📁 ファイル構成 : [データディレクトリ](#)

Webサーバーの実行ユーザーとは

Webサーバーの実行ユーザーが、サイボウズ Officeの次のフォルダーの所有者になります。

- インストールディレクトリ
- データディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリ

Webサーバーの実行ユーザー名を確認するコマンドは、次のとおりです。

例：Webサーバープロセス名がhttpdの場合

```
> ps aux | grep httpd
nobody 5235 0.0 1.9 540 576 ?? I 30Nov99 0:00.25 httpd
```

結果の最初に表示される項目が、Webサーバーの実行ユーザー名です。

上記の場合は「nobody」が、Webサーバーの実行ユーザー名です。

rootもユーザー名として表示されることがありますが、rootは実行ユーザー名として設定しないでください。

サーバーの移行（移行元がOffice 10の場合）

移行元と移行先の製品が、ともにOffice 10である場合のサーバーマシンの移行手順を説明します。

Step1

移行前の注意事項を確認します。

☐ [移行の前に確認すること](#)

Step2

移行元での作業 移行元で、Office 10が動作している次のディレクトリを確認します。

- インストールディレクトリ
- データディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリ

☐ [サーバーの環境を確認する](#)

Step3

移行元での作業 Step2で確認したデータディレクトリのファイル構成を確認します。

☐ [データディレクトリ](#)

Step4

移行元での作業 メンテナンス時間を設定します。

☐ [メンテナンス時間を設定する](#)

Step5

移行元での作業 スケジューリングサービスを停止します。

☐ [スケジューリングサービスを停止する](#)

Step6

移行元での作業 移行するデータをバックアップします。

バックアップするデータは、次のとおりです。

- (データディレクトリ)/cb5/data以下のすべてのデータ
- (データディレクトリ)/cb5/file以下のすべてのデータ
- (データディレクトリ)/cb5/log以下のすべてのデータ

☐ [バックアップ](#)

Step7

移行先での作業 移行元と同じマイナーバージョンのOffice 10 を移行先のサーバーマシンにインストールします。

移行元と移行先でマイナーバージョンが異なる場合は移行できません。

☐ [移行元と移行先の製品バージョンの確認](#)

Step8

移行先での作業 スケジューリングサービスを停止します。

☐ [スケジューリングサービスを停止する](#)

Step9

移行先での作業 移行元のバックアップデータをコピーし、移行先のサーバーマシンに上書きします。

- 移行元のバックアップデータ：
 - (データディレクトリ)/cb5/data

- (データディレクトリ)/cb5/file
- (データディレクトリ)/cb5/log

↓

- 移行先のディレクトリ：
(データディレクトリ)/cb5/



- 移行時にデータを上書きすると、移行先のアクセス権が変更されることがあります。詳細は次のページを確認してください。

[📄 移行時にデータを上書きする場合](#)

Step10

移行先での作業 スケジューリングサービスを開始します。

[📄 スケジューリングサービスを開始する](#)

Step11

移行先での作業 Office 10の動作を確認します。

Webブラウザを起動してOffice 10にアクセスし、次のことを確認します。

- 正常に動作する
- 移行元のデータを、正常に閲覧や表示できる

Step12

移行元での作業 移行先のサーバーマシンでの作業が完了していることを確認し、移行元のOffice 10をアンインストールします。

[📄 Windowsの場合](#)

[📄 Linuxの場合](#)

ドライブの移行（移行元がOffice 10の場合）

移行元と移行先の製品が、ともにOffice 10である場合のドライブの移行手順を説明します。



- 移行元のOffice 10のデータだけを異なるドライブに移行することはできません。データを移行するときは、移行先のドライブにOffice 10をインストールする必要があります。
- 移行先のドライブでホームディレクトリを変更する場合は、Webサーバー側でも、ホームディレクトリの設定を変更する必要があります。

Step1

移行前の注意事項を確認します。

[移行の前に確認すること](#)

Step2

移行元での作業 移行元で、Office 10が動作している次のディレクトリを確認します。

- インストールディレクトリ
- データディレクトリ
- ドキュメントルートディレクトリ

[サーバーの環境を確認する](#)

Step3

移行元での作業 Step2で確認したデータディレクトリのファイル構成を確認します。

[データディレクトリ](#)

Step4

移行元での作業 メンテナンス時間を設定します。

[メンテナンス時間を設定する](#)

Step5

移行元での作業 スケジューリングサービスを停止します。

[スケジューリングサービスを停止する](#)

Step6

移行元での作業 移行するデータをバックアップします。

バックアップするデータは、次のとおりです。

- (データディレクトリ)/cb5/data以下のすべてのデータ
- (データディレクトリ)/cb5/file以下のすべてのデータ
- (データディレクトリ)/cb5/log以下のすべてのデータ

[バックアップ](#)

Step7

移行元での作業 移行元のOffice 10をアンインストールします。

移行元と移行先での、Office 10の二重運用を防ぐために、移行元のOffice 10をアンインストールします。

[Windowsの場合](#)

[Linuxの場合](#)

移行先での作業 移行元と同じマイナーバージョンのOffice 10 を移行先のサーバーマシンにインストールし

Step8

ます。

移行元と移行先でマイナーバージョンが異なる場合は移行できません。

[☐ 移行元と移行先の製品バージョンの確認](#)

Step9

移行先での作業 移行先のドライブに仮想ディレクトリを設定します。

[☐ 仮想ディレクトリの作成方法](#)

Step10

移行先での作業 Office 10の動作を確認します。

Webブラウザーを起動してOffice 10にアクセスし、正常に動作することを確認します。

Step11

移行先での作業 スケジューリングサービスを停止します。

[☐ スケジューリングサービスを停止する](#)

Step12

移行先での作業 移行元のバックアップデータをコピーし、移行先のサーバーマシンに上書きします。

- 移行元のバックアップデータ：
 - (データディレクトリ)/cb5/data
 - (データディレクトリ)/cb5/file
 - (データディレクトリ)/cb5/log
- ↓
- 移行先のディレクトリ：
(データディレクトリ)/cb5/



- 移行時にデータを上書きすると、移行先のアクセス権が変更されることがあります。詳細は次のページを確認してください。

[☐ 移行時にデータを上書きする場合](#)

Step13

移行先での作業 スケジューリングサービスを開始します。

[☐ スケジューリングサービスを開始する](#)

Step14

移行先での作業 Office 10の動作を確認します。

Webブラウザーを起動してOffice 10にアクセスし、次のことを確認します。

- 正常に動作する
- 移行元のデータを、正常に閲覧や表示できる